

薬剤師実務実習を受け入れて

大分ゆふみ病院
堀 美保



大分ゆふみ病院は、大分県下初の緩和医療施設として開院して9年目を迎え、ホスピスとして緩和ケア実習を受ける機会が多くなってきました。当院は、大分大学医学部の卒後研修、ホスピス認定看護師研修の研修施設であり、医師・看護師・医療系学部の学生等の研修に、チームとして当たっています。薬剤師として、薬学的な知識、麻薬についての研修を行うこともあります。

薬学生については、平成16年よりアルメイダ病院薬剤部の学生実習の一貫として、一日緩和施設実習を受け入れてきました。その縁もあって、今回、6年生実務実習指導に携わるアルメイダ病院薬剤部の薬剤師の実務研修を当院で行うことになりました。事前に予備学習を行い、自己目的を持って実習に臨むということをお願いしています。短い実習なので、緩和ケア技術ではなく実際のホスピス・緩和ケアを体験して頂くことが大切なのではないかと考えています。

《研修受け入れ状況》

【平成20年】

卒後臨床研修医 15名
大分大学医学部
薬剤師研修 1名
独立型ホスピス 聖ヨハネ病院
看護師研修 23名
ホスピス認定看護師研修 2名
大分県看護実習 21名
医学生研修 5名
香川大学 大分大学 長崎大学
薬学生研修 7名
広島国際大学
崇城大学
九州保健福祉大学
平成帝京大学
福山大学 4年
九州大学 4年
社会福祉士研修 1名
大分大学 4年

【平成21年】

卒後臨床研修医 3名
大分大学医学部
薬剤師研修 2名
アルメイダ病院
看護師研修 23名
ホスピス認定看護師研修 2名
大分県がん看護実務研修 14名
在宅ホスピス研修 8名
医学生研修 10名
長崎大学 大分大学
薬学生研修 1名
九州保健福祉大学 4年

実習では研修医や医学生、看護師と一緒に医師や看護師長の講義を受けたり、ディスカッションして頂くこともあります。実習の内容は、その日の患者さんの状態や、外来・入院の状況により変わりますが、おおよそ、下記の実習を行います。

- ・ 朝のショートカンファレンスへの参加
- ・ 合同カンファレンスへの参加
- ・ (MSWより)
MSWの役割と地域連携について
- ・ 入院患者さんとのコミュニケーション
- ・ (医師より)
緩和医療の講義
- ・ 持参薬の検薬と医師・看護師との処方計画の提案・作成
- ・ 入院注射薬セット
- ・ 麻薬調剤・麻薬管理の見学
- ・ 麻薬服薬指導(適応患者のある時のみ)

当院での実習は、緩和医療施設での緩和医療の実践というばかりでなく、独立型ホスピスという一般病院とは違った環境である為、他職種が実習に関わることもあって、チーム医療を体験できるのではないかと考えています。

卒後に他院で実習する機会は、薬剤師にとってはあまりない機会だと思います。当院の医師、看護師からも、実務経験のある薬剤師が実習に来ることにより、「チームスタッフの気持ちが引き締まって現場がいい感じですね。」という感想を頂きました。毎日の業務が忙しい中で実習を引き受けることは、負担に感じることも正直あります。しかし、自身の業務を振り返り、より良い明日へと繋いでいくといううえで、受ける側の施設にとっても良いことであると私は考えております。薬剤師間で共に学び高めあって、**《薬剤師としての現在の自分に満足しない！！》** こういう気持ちを持ち続けたいと思っています。



合同カンファレンス



* 施設見学・実習を希望する方へ *

見学及び実習は、薬剤師1名の為、病院の通常業務に差しさわりのないように調整を行い、実施しております。

施設見学は30分から1時間程度、入院患者さんの静かな入院環境に配慮して、3人まで。

実習の場合には、所属施設を通じた実習依頼書の提出が必要になります。

ご希望の方は、当院事務までお問い合わせ下さい。

大分ゆふみ病院

TEL 097-548-7272